

## 太陽光発電を活用した地域公共交通活性化事業 実施概要

## 1 目的

北海道における「エネルギーの地産地消促進事業費補助金」及び固定価格買取制度（FIT）を活用しコミュニティバスとタイアップすることで、20年間継続して得られる売電収益を運行費用の一部とすることが可能となり、また、BDFを使用し運行しているコミュニティバスをより一層「環境にやさしいエコバス」としてのイメージアップが期待できることから、コミュニティバスの安定した継続運行と本町が推進していく遊休町有地等を活用した「新エネルギーの導入」を図る。

## 2 事業内容

北海道の「エネルギーの地産地消促進事業費補助金」を活用して設置した太陽光発電施設によって得た電力を固定価格買取制度（FIT）により売電し、その収益を当別町が負担するコミュニティバス運行費用の一部に充当する。

## 3 共同体（コンソーシアム）の設置

「エネルギーの地産地消促進事業費補助金」の事業計画書及び交付申請等は共同体での申請が要件であることから、当別町を代表者とし（有）下段モータースを構成員とした協定書による共同体を設置する。

なお、共同体名は「ene・BUSコンソーシアム」とする。

## 4 施設建設費

- ・当別町から ene・BUSコンソーシアムに対する負担金：12,500千円
- ・北海道の「エネルギーの地産地消促進事業費補助金」：12,500千円

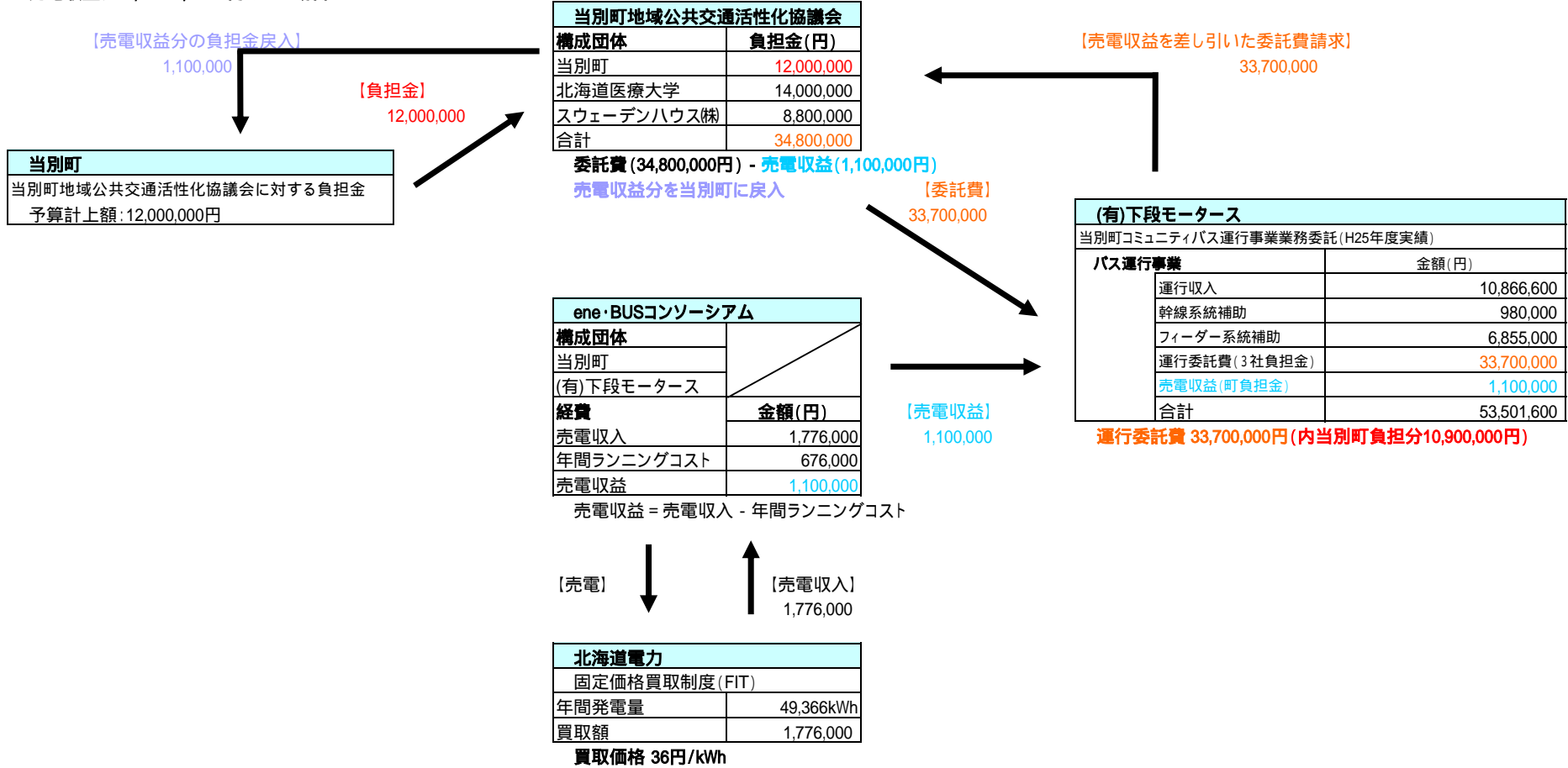
## 5 発電設備

発電容量：48kw 以上 50kw 未満

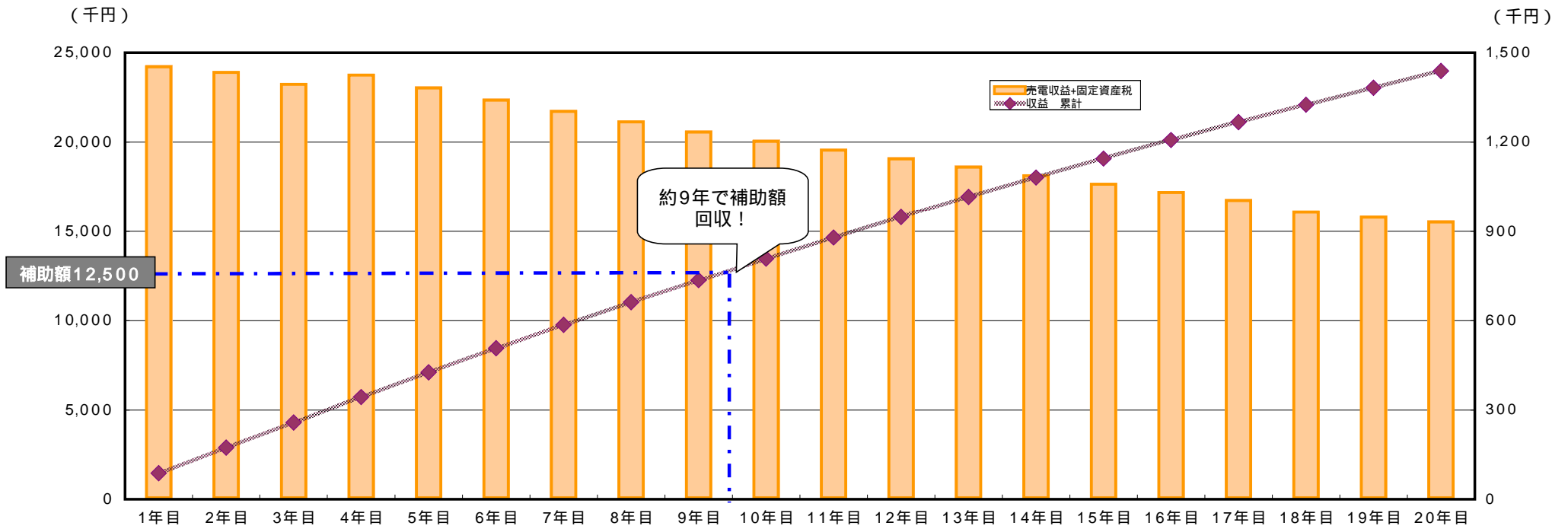
設置場所：当別町下川町 123-42 ゆとりっち稲穂 旧調整池（町有地）



**太陽光発電事業イメージ図**  
 売電収益が1,100,000円あった場合



【（固定資産税入り）効果額 グラフ】



	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	計
売電収益(A)	1,275	1,256	1,237	1,217	1,199	1,180	1,161	1,143	1,125	1,107	1,089	1,071	1,054	1,036	1,019	1,002	986	969	952	936	22,014
固定資産税(B)	182	182	161	212	187	165	146	129	113	100	88	77	66	55	44	33	22	0	0	0	1,962
計(A+B)	1,457	1,438	1,398	1,429	1,386	1,345	1,307	1,272	1,238	1,207	1,177	1,148	1,120	1,091	1,063	1,035	1,008	969	952	936	23,976
収益 累計	1,457	2,895	4,293	5,722	7,108	8,453	9,760	11,032	12,270	13,477	14,654	15,802	16,922	18,013	19,076	20,111	21,119	22,088	23,040	23,976	-
実効果額 (累計-補助金額)	-11,043	-9,605	-8,207	-6,778	-5,392	-4,047	-2,740	-1,468	-230	977	2,154	3,302	4,422	5,513	6,576	7,611	8,619	9,588	10,540	11,476	-

売電収益（20年分）                      20年間                      1年当たりの収益

売電収益(A)：売電収入 - ランニングコスト（20年平均）                      22,014 ÷ 20 = 1,100 千円

## 【年間ランニングコスト】

(千円)

項目		金額	備考	
売電収入から支出	売電収入に係る税金(おおよそ)	250	法人税・法人事業税 法人道民税・法人町民税	
	固定資産税	98	20年平均 (耐用年数17年)	
	保険料	70	モジュール保険	
	除雪委託等	100	人材センター等	
	パソコン電気代	80		
	パソコン交換積立	78	10年毎交換(2回分)	
	計	676		